



はじめてとらきち君からの手紙を読む方へ、はじめ君とよう君は店長の孫です。多少の可愛いがりすぎは、お許し下さい。



5月7日は、次女薫の結婚式でした。世田谷美術館内にある、ル・ジャルダンというレストランで執り行われました。まあ、雨が降ったらどないすんやろ？てっ会場でしたが、お天気も何とか、手作り結婚式でなかなか感動的でした。



はじめ君は、照れながらもリングボーイを勤めて大活躍！

ボクはと言うと、みんなからいじられて泣かされました(-_-)

ボクの最後の挨拶も、いつも通り、全く原稿通りではありませんでしたが上手くいったようです!?(飲み過ぎで覚えていません。)

93歳になる薫のジイジは列席満々でしたが、当日体調不良で残念！

これからは、孫の代の結婚式に出るだけです。嬉しいような、寂しいような…。

薫は「オノドラを継ぎます」と宣言したので、(あてになりませんが…)31年間続いたオノドラも、存続の危機からは一応、気持ち的には脱却しました。ボクは、生きていれば80歳までは頑張りますので、お付き合い下さいネ(^_^)/

もう、通算すれば何千人の方のご相談を受けました。「人には忘れるという能力があります」といつも言います。生まれてから今まで、すべてのことを記憶していたら、人は生きていけません。楽しいことより辛いことの方が多いのが人生ですから。逆に楽しいことばかりが日常なら、楽しい、嬉しい、幸せなんて気持ちはなくなります。

忘れることは、能力なんです。小学校の授業時間が45分なのは、それ以上授業しても頭に残らないから…らしいです。ボクも研修会に毎週のように出かけますが、10学んだら1つぐらいしか記憶に残っていません(-_-)ボイスレコーダーなる便利な記録機械があります。時々聞き逃してはいけない研修には使用しますが、記録したのを忘れて聞き返したことはまれですからしょうがありませんね(笑)聞いて書くが一番です。

「物忘れ」と「認知症」の違いをご存じですか？

加齢による物忘れ



物忘れを自覚している
体験したことの一部を忘れる
ヒントがあれば思い出す
日常生活に支障がない
判断力は低下しない

認知症による物忘れ



物忘れの自覚がない
体験したこと自体を忘れる
ヒントがあっても思い出せない
日常生活に支障がある
判断力が低下する

加齢による普通の物忘れとは、例えば「うっかり時間を忘れてしまう」「印鑑をどこにしまったか忘れて探している」などで、これは認知症ではありません。

記憶は、①記銘(情報を学習して覚える)②保持(情報を記憶として覚える)③再生(情報を思い出す)の三段階からなっています。加齢による物忘れでは③の再生の機能が低下することで、覚えていることを思い出すまでに時間がかかるようになります。

認知症状における物忘れとは、「約束したことを覚えていない」「印鑑をしまった事を忘れる」といった、そのこと自体を覚えていられないことです。例えば、アルツハイマー型認知症では、少し前の経験そのものを忘れてしまうため、何度も同じ事をたずねるといったことが生じます。特に食事や外出などのエピソード記憶が障害されやすいと言われています。昔のことは思い出せるが、今したことが思い出せなくなったら要注意です。

今ラジオが見直されています。テレビは視覚に入りますから、脳であまり考えませんが、ラジオは想像をかき立てます。新聞、字を読むことも有効と言われています。笑うこと、歌うこと、気の合う同士で群れること。できることはたくさんありますよ(^_^)

「18歳」と「81歳」の違い

道路を暴走するのが18歳	道路を逆走するのが81歳
心がもろいのが18歳	骨がもろいのが81歳
偏差値が気になるのが18歳	血糖値が気になるのが81歳
受験戦争を闘うのが18歳	アメリカと闘ったのが81歳
恋におぼれるのが18歳	風呂でおぼれるのが81歳
何も知らないのが18歳	何も覚えていないのが81歳
自分探しの旅をしているのが18歳	
出かけたままわからなくなって、皆が探しているのが81歳	

大丈夫!大丈夫!気にしない!気にしない!(*^_^*)